

TRICOLOR

女性のためのやさしい フットサルタイム開催!!

以前皆様にアンケートをとらせていただいた結果、そこそこ興味のある方がいらっしやいましたので試しに企画してみました。ウォーミングアップを行い、簡単なルール説明ののち、たくさんゲームを行います。難しいことは抜きにして、まずはどんなものなのか体験してみてください。楽しいですよ～。皆様お誘いあわせの上是非お越し下さい。

- 日時: 2/11(月)10:00-11:30
- 会場: 港北小学校体育館
- 対象: 中学生以上の女性限定(本クラブ関係者でなくても大丈夫です)
- 費用: 無料
- 服装: 動きやすい服装で
- 持ち物: 室内履き・飲み物・タオル
- ※ボールは不要
- 参加方法: 事前申し込み不要です。
当日直接 10:00 までに会場にお越し下さい。
- 注意
- ①クルマでの来場はできません。周辺の有料駐車場をご利用下さい。
- ②校内及び周辺は禁煙です。
- ③怪我や事故等、個人の責任においてご参加下さい。
- ④少年用のフットサルボールを使用します。

かながわフェスティバル 開催日決定!!

1年に1度のかながわクラブ最大のイベント「かながわフェスティバル」。

今年度の日程が決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

期 日	3月20日(木/祝)
時 間	12:00-16:00
会 場	しんよこフットボールパーク
内 容	全クラブ員混合 ハーフコートゲーム大会
対 象	全クラブ員
参加費	【幼小/JY/Youth】@500円 【Papap/Mistral】@1,000円
参 加 方 法	事前申し込み不要です。 当日直接 11:30 までに会場にお越し下さい。

新年度の登録更新について

かながわクラブでは、毎年、クラブ員であることを「クラブへの登録」というかたちで表し、年度ごとに更新の手続きをとっていただいております。

今年度は**2月10日(日)より**「かながわクラブ登録申込書」をクラブ員の皆様に配布いたしますので、必ず担当コーチから受けとるようにしてください。

そして、新年度も「かながわクラブ」での活動を希望される方は、必要事項をご記入の上、**3月9日(日)までに各担当コーチまで提出**してください。

事務局での準備等がありますので、**期日厳守**をお願いいたします。

また、新年度からは活動に参加する意思のない方は、同日までに「退部届」をご提出下さい。

【ご注意】

- ①転勤等でどちらか分からない場合、とりあえず「登録申込書」を提出し、クラブへの要望事項欄にその旨ご記入下さい。
- ②最近入部された方には大変ご面倒とは存じますが、新年度用の登録申込書を再度ご提出下さい。

大会・公式戦結果

クラブトータルリーグ

▼グループリーグ第1戦

<Junior Youth>
vsY.S.C.C. 4-0○

<小6>
vsY.S.C.C. 1-8●

▼グループリーグ第2戦

<Junior Youth>
vs コミュニティ FC 0-1●

<小6>
vs コミュニティ FC(不戦勝) 5-0□

▼グループリーグ第3戦

<Junior Youth>
vsFC OFFSIDE 4-1○

<小6>
vsFC OFFSIDE 1-1△

Top

【県社会人選手権】

▼2 回戦

vs 秦野 FC 1-0○

Youth

【県 U-17 リーグ】

vs 逗子開成 0-3●

【県クラブユースリーグ】

vs Y.S.C.C. 2-3●

Junior Youth

【JFA プレミアカップ 2008 県大会】

vs 林少年団 willgrove 2-1○

【J-VILLAGE ニューイヤーフェスティバル】

vs 白石 12-0○

vs 水沢 A 5-2○

vs ジェイム福島 0-1●

vs セツ浜 SC 1-1△

vs 成田中 1-3●

小 6

【神奈川県少年サッカー選手権】

▼1 回戦

vs FC 鷹 1-4●

【神奈川県少年サッカー選手権】

▼1 回戦

vs EMSC 1-0○

Papas Rec

【県議長杯】

vs 茅ヶ崎四十雀 0-10●

今、グラウンドでは・・・

Top

【2008 年 Top チーム始動】

トップチームは1月5日に初蹴りを行い、2008年の活動を開始しました。今年は個人の実戦的技術、判断、チームとしてどのように戦うかという方向性を明確に定めて臨みたいと思います。今年も応援よろしくお祈りします！

【神奈川県社会人選手権開幕】

例年より約1ヶ月も早い1月20日(日)に神奈川県社会人選手権が始まりました。この大会は全国社会人選手権関東予選(優勝チームが出場)、神奈川県サッカー選手権兼天皇杯県予選(ベスト4で出場)、の出場権が懸かった重要なトーナメント戦です。初戦となった2回戦、KSL-2(2部)

の秦野FCと戦い、1-0で勝利しました。スコア以上に内容は圧倒しましたが、課題はアタッキングゾーンで、無駄な横パス、ゴールから遠ざかるドリブルを繰り返し、相手に結果的に奪われてしまうケースが多くありました。これは一人一人がボールを受けたあとに次のプレーを考えてしまう、ゴールへ向かうための有効(前方、広域)な視野の確保をするための体の向きでボール受けられていない、ボールを持っていないときに次のプレーのイメージを持っていない。の現象がありました。次の2月17日の第2戦のために、練習、練習試合から改善していきたいと思っています。今年も天皇杯予選に出場したいので絶対勝ちたいところです。(樋口 圭太)

Youth

1月5~7日、寒川招待ユースサッカー大会に参加しました。最終日は多くの選手が始業式で抜けていたこともあって、結果はなんと20チーム中最下位・・・。

しかし、ここへ来て仲間が増えてきたこと、短期間に集中的に試合を行うことができたことで、またまたチームが大きく成長できました。

戦術的な理解度が増してきたことばかりでなく、「戦う姿勢」が多く見られるようになって来たことは喜ばしいことです。

選手たちには人間としての成長も見られ、指導者対選手といった関係のみならず、人間対人間といった信頼関係が出てきたことも素晴らしいことです。

可能であれば春休み期間中に遠征を行い、4月から始まる新シーズンに向けてもうワンランク上のレベルに到達したいと考えています。(内田 佳彦)

Junior Youth

【クラブトータルリーグ】

すでに3戦が行われました。このリーグは、複数のカテゴリーを統一組織として持つクラブ同士がクラブチームの本来の良さを生かした大会を行うことで選手のレベルアップとクラブの発展を目指していくものです。大会形式としては、小学生とジュニアユースが同日同会場で試合を行い、2試合の勝点と得失点差の合計が対戦成績として反映されます。お互いの試合を観

戦するのはもちろんのこと、小学生がジュニアユースの試合に出場できるチャンスもあります。今年は今のところ5名ほどが出場しています。また、今回より大会優秀選手の選出を行うことになりました。すでに観戦に来られた保護者の皆さまにはご協力いただいておりますが、この選出にあたっては、コーチ・選手・観戦者に投票権があり、基本的に対戦相手チームの選手に投票していただきます。最終的に得票数の多い選手が優秀選手として表彰されます。残り1試合ありますので大会主旨をご理解の上、ご協力お願いいたします。

(二木 昭)

小 6

【神奈川県少年サッカー選手権大会】

6年生最後の大会となります。初戦はグラウンド状況が悪く、丁寧にサッカーをする、かながわクラブにとっては難しい試合となりました。そんな中でも選手たちは順応性をみせてくれ、相手に蹴らせないサッカーを実践し、1-0で勝利することが出来ました。スコアこそ1-0ですが内容的には大勝してもおかしくない内容でした。オシム前監督ではないですが、いいサッカーをしているチームが勝てるようこれからも祈っています。

【CTL】

昨年末からクラブトータルリーグが開催されています。6年生はジュニアユースの試合に出られるチャンスがあります。積極的にジュニアユースに出られるよう、中学生に話しかけ、色々教えてもらったり、自分自身で観察し吸収したりと、積極的に試合に出られるように練習しましょう。今は体格やスピードが違うため、自信が出ないかもしれませんが、恐れず自分の今持っている力を少しでも伸ばそうと努力していれば、その内できることが増えてくるはずです。

頑張ってください。(益子 伸孝)

小 5

先日、学校帰りに電車を降りて改札に向う途中に「まる！！」と呼ばれ後ろを振り向くと小学生の時のかながわクラブ時代のチームメイトでした。懐かしさのあまり二

人でコーヒーを飲むことになり最初は学校やバイトの話をしてたのに・・・いつの間にか話題はサッカーの話になっていました。10年近くたった今もお互い小学生の時代のサッカー少年の心は変わっていませんでした。今の小学生が10年後にはこんな感じになるのでしょうか？(笑)

【考えてプレーする】

最近の練習では、ミニゲームを多くとれるようにしています。子供達は基礎練習以外の練習でとても喜んでいました。ミニゲームは、シュート練習やリフティングなどと違いより相手の選手がいる実践の試合に近い練習です。しかし、ただ考えてプレーをすと言っても大人でも理解が難しい、子供たちには、「ボールを貰う前に相手の位置・スペース・味方の位置」を観ることを重点的にやっております。今の段階では、なかなか苦勞している子供たちが多いですがやろうとしている意識が感じられます。

【挑戦すること】

最近の練習試合や練習中のゲームで積極的にプレーする選手が増えてきました。(4月の段階からみたらとても見違えるほど成長!!)しかし、まだ6年生相手になると積極性がかけてしまいます。残り少ないですが5年生にとって身近で強い相手の6年生に果敢に挑戦してもらいたいと思います。(丸山 祐人)

小 4

【チーム分けの弊害?】

国際チビッ子が終わって、11月・12月には練習試合が続きました。その中でブルーやブランという枠組みの中では積極的にサッカーに取り組んでいた子どもたちが、その枠組みを取り払ってしまうと、やればできるのにもかかわらず、なぜか消極的なプレーに終始することが多くなってきたのです。簡単に言うと、自分よりも上手な子に任せてしまうことが目立つようになったということです。何が子どもたちのモチベーションを下げてしまったのでしょうか?

チーム分けに際しては、その時点でのサッカーへの習熟度を考えてのチーム分

けであって、決してこれが絶対的かつ普遍的なものではないということ、更にはあくまでもサッカーというスポーツの技量の差であって、何ら人間性を評価するものではないということを周知徹底したつもりでした。しかし、残念なことこの点を十分にご理解いただけなかった親御さんが、万が一いらして、よその子と自分の子とを比較して発破をかけたり、「レギュラーになれなければサッカーをやっている意味が無い」などとお尻をたたいたりしているとしたら、子どもたちのモチベーションは下がり、ミスを恐れ、やる気をなくしてしまうことでしょう。

個人差はあっても、子どもたち一人一人は確実に向上しています。頑張っている子どもたちに対して、他人と比較することや、レギュラー以外は意味が無いなどという偏った価値観を押し付けることだけはやめていただきたいものです。

【相対評価ではなく絶対評価で!】

公立の小中学校で、成績の評価の仕方が相対評価から絶対評価に変わって数年が経過しています。学校現場では子どもたち一人一人の頑張りを評価しようという取り組みが浸透し始めているようです(全国規模での学力調査テストの実施などを除けば)が、小学生年代のスポーツの場面で、絶対評価が定着しつつあるかという大いに疑問が残ります。例えば、公式戦を含む各種の大会で、優勝、準優勝などと安易に順位をつけることは、相対評価を具現化したものに他なりません。また、早期にレギュラーと補欠という区別をすることも、他人の子と自分の子とを比較するきっかけを徒に与えてしまうことになります。脳の発達の活発な時期にこそ身につけるべき個々の技術習得を疎かにして、勝利至上主義の競争原理だけを導入することに、何の意味があるのでしょうか。

勿論、向上すること(上手になること、強くなること)は、人間が生きていくうえで必然的に生ずる欲求ではありますが、「上手=勝利」という図式が簡単には成り立たないのが小学生年代のスポーツ指導の現場ではないのでしょうか。つまり、勝利を第一とする指導より、年代に応じて(成長の度合い合わせて)、個々の技術を向上させる指

導を重要視しなければならないのが小学生年代における最優先課題だからです。

どうか、ご自分のお子さんに対しては、上手な他の子どもを基準とするのではなく、サッカーを始めた当初のご自分の子どもを基準として、一年前よりも、一ヶ月前よりも、一週間前よりも、そして昨日よりも進歩していることを評価してあげてください。

【ボールに触れる機会を増やす!】

さて、やや消極的になっている子どもたちに、再び前向きに取り組んでもらうために二つのことを考え、実行しました。一つは「サッカーをする上で大切なことは、常に一生懸命に取り組むことで、上手い下手は全く関係がない。みんなとサッカーをすること自体が楽しくて、少しずつでも上手くなっていくことが実感できることに意味がある」ということを口頭で伝え、精神的な面からのフォローをしました。また、具体的な練習メニューとして4人対4人のミニゲームを復活させました。この練習の良さは、個々のプレーする場が増え、ボールに触れる機会が多くなることにあります。他人任せではなく、自らが積極的に取り組むことが要求される練習です。

ただ、以前とは異なり多少ゴールの大きさを広げることにより、攻撃面では、より積極的にゴールを狙う姿勢を、そして守備面では、素早く相手との間合いを詰めてシュートをさせない守り方をテーマとしました。このことで子どもたちは更に積極的にプレーをせざるを得なくなりました。

【50歳過ぎても上手になりたいの!?!】

日本サッカー協会のシニア登録(40歳以上)が年々増えつつあるそうです。かながわクラブで言えば、Papasというカテゴリーにあたります。生涯スポーツという観点からだけでなく、やはり、一生続けられるスポーツを持っているということは素晴らしいことだと思います。私自身も今年で53歳になりますが、「もっともっとサッカーが上手になりたい」と常に思っています。このように人間である以上、誰もが必ず向上心を持っているはずで、どの子どもにも、昨日より少し上手くなった実感や喜び(成功

体験)を一つ一つ積み重ねていくことで、これからの長いサッカー人生が約束されるのではないのでしょうか。

幸いかながわクラブには幼児・小学生から中学生・高校生・トップ・Papas まで一貫した指導が受けられる環境が整っています。十分に利用しないと勿体無いではありませんか。

【練習も見に来てください！】

毎回のように練習のお手伝いをしてくださるお父様方には、一緒に練習することで子どもたちの成長ぶりを実感していただいていることと思います。試合では負けることが多いのも事実ですが、子どもたち一人一人が一つでもそれまでできなかったプレーが試合の中でできるようになっていけば、そのことを評価したいと思っています。そして、試合で上手にプレーできるようになるために、一生懸命に練習に励む子どもたちの姿があることを忘れて欲しくはありません。

せっかくの休養日である貴重な日曜日ではありますが、是非、港北小学校のグラウンドに足を運んで子どもたちの練習ぶりも見ていただければと思います。目標に向かって一生懸命に取り組む子どもたちの姿がご覧いただけるはずで、できれば一緒に練習にも加わっていただけたら、子どもたちの成長を肌で感じることもできると思います。少しずつでも上手になるという成功体験を大切にしたいものです。勿論個人差がありますので、人によっては遅々とした歩みかもしれませんが、確実に前に進んでいます。最後に、重ねてのお願いになりますが、自分の子と他人の子との比較は絶対にしなしてください。

(佐藤 敏明)

小 3

【天才ロマーリオの秘密】

唐突ですが、皆さんが好きなサッカーチームはどこですか。今だったら、昨年末に世界一に輝いたイタリアの AC ミランが一番人気になるのでしょうか。私は、90 年前後にかけてオランダ人のヨハン・クライフ氏が監督をしていたときの FC バルセロナが大好きです。このチームがピッチ上で展開するプレーはまさに芸術の域に達して

いたと思います。当時を振り返ってみても、センターラインのクーマン、グアルディオラ、パケロ、ロマーリオの 4 人はもちろんのこと、その他のプレーヤーたちも心からサッカーを楽しんでいるように感じました。そんなドリームチームの監督だったクライフ氏が、自著の中で当時のエースストライカーだったブラジル代表のロマーリオ選手について熱く語っておりますので、ご紹介したいと思います。

◇ロマーリオは実にすばらしいテクニックをもったストライカーである。技術力と得点力。この 2 つはサッカーにおける基本要素だが、どちらにも秀でた選手、それもロマーリオほど見事に技術力と得点力を併せもった選手にはめったにお目にかかることはできない。だから彼は“並外れた”選手と言えらるだろうが、“並外れた”なかでも別格の、類まれな選手だ。(自分で)プレーし、(人に)プレーさせ、ゴールを決める。経験的に見て、ストライカーというのは“突風”のようなもので、好不調の波が激しい。たたみかけるように得点を重ねるかと思えば、深刻な“干ばつ”に襲われ、まったく得点できなくなることもある。ロマーリオもそういう経験をしてきたはずだし、これから先、またやるかもしれない。しかし、自分でゴールを決められないとき、彼は仲間シュートを打たせることができる。ロマーリオはフィールド内でのポジショニングがうまく、相手から見れば常に脅威となる存在だ。いつディフェンスが釘づけにされ、ゴールを決められてしまうかわかったものではない。その怖さを、どのチームの DF 陣も知っている。しかも、彼には突破だけではなくパスもあるのである。ロマーリオがどういう選手なのか知ろうと思ったら、ブトラゲーニョ(当時のレアルマドリードに所属していた元スペイン代表のストライカー)を引き合いに出しておかなければならない。「ウチに獲得できればなあ、彼を獲得のなら無理やりでもウチのラインナップに“穴”を見つけるのに・・・。」私がそう言いつづけてきた選手、それがブトラゲーニョだ。ロマーリオは、彼と同じスタイルの選手である。1メートル四方あるかないかのほんのわずかなスペースがあれば、動きを止め、マーカーを引き付けておいてからフェイントで抜き、ゴールをめがけて突進していく。手を出せばペナルティ。そうかと言ってそのままボールを持って行かれたら、ゴールの確立は 90%。ほかの選手なら

広いスペースが必要などころだが、ロマーリオならほんのわずかなスペースから攻撃のチャンスを作り出せる。彼の本当にスゴイところはこれなのだ。◇

当時のゲームの様子は映像ソフトとしても巷にあふれていると思いますので、興味を持たれた方はぜひお手にとってご覧下さい。(鈴木 章弘)

小 2

年明けに小学生の時に所属していたサッカークラブの仲間たちとお世話になったコーチと久しぶりに会いサッカーをしました。そのコーチとは 10 年以上ぶり！当時はそこそこ若いコーチだったのですが、今では・・・。(苦笑)今流行りのメタボリックにもなっていました。10 年前、プレーでまったく通用しなかったのですが今では大逆転。昔の軽快な動きはどこにいったのか・・・。コーチも僕たち教え子に負け、かなり悔しそうでした。歳には敵わんと最後につぶやいていました。

やはり昔一緒にサッカーをしていた仲間、コーチと久しぶりに会えて良かったですし、また一緒にサッカーが出来たことがとても嬉しく思いました。昔の仲間ってとても良いものです。子供たちにもそう思える日が来ると思います。そう思えるためにも、今いる仲間を大切にすることが大事ですね。

ここ最近新しいメンバーが何人か増え、体験に来る子もいて練習には 20 人前後参加しています。とても活気があって良いです。最近では少しミニゲームなど取り入れ 3 対 3 や 4 対 4 などを行なっています。ミニゲームの中での 1 対 1、ドリブルで相手をかかわす。出来る子にはボールから少し離れて、ボールを呼んでみよう、といったことなどを教えています。

しかし、なかなか味方から少し離れてボールをもらうのは難しいものです。ボールを持ったらゴールへ一直線！この年代の本能でしょうか。決して悪いことではありません、むしろ良いことだと思います。ボールへの執着心が強いのです。味方のボールも奪いますし・・・、それは少し困りますが？！(笑)。これからも少しでも長い時間ゲームをやらせてあげたいと思っています

す。(鞍川 潤一)

幼児・小 1

【「学ぶ」】

ご存知の通り、実は私も一介のサラリーマンでしてドタバタと過ごしている毎日なのですが、そんな私の勤める会社では毎週月曜日の朝に「5 分間スピーチ」なることをやることになっており、社員が順番にテーマに沿って発表など行うことになっています。そろそろ次の順番が近づいてきていることもあり今度のテーマを確認すると「学ぶ」だとのこと。通常であればその場しのぎで済ましてしまうことが常なのですが、思うところもあり今回はかながわクラブでの活動に関連付けて久々にまじめに(!?)考えてみました。

まず一番に思うことは、今更ながらですが「私が教える以上に子供たちにはいろいろなことを教わっているな」ということ。特に、好きなことに取り組む一生懸命さ、直向さ、にはいつもながら頭が下がります。一方、そんな子供たちに向き合うためにも自分自身も学ばなければならぬことに気づきます。実はそんな思いもあり指導者講習会に参加したのですが、一度きりではなく継続して「学び」続けたいといけないうまく説明できるかは？ ですが、ここでのご案内と同時にスピーチのネタにしたいと思います。

…しかし、サッカー疲れの月曜日朝一番のこの企画、早いところやめて欲しいのが本音です、社長様、ご一考を。。。

(小野 津春)

Papas

【三宅さんが競技委員に】

1 月 14 日に開かれた県シニアサッカーリーグ代表者会議で、Papas Rec に所属する三宅高司さんが四十雀リーグ 4 部の競技委員(副)に就任することが決まりました。任期は、当年、4 月からの 1 年間ですが、業務内容は、4 部リーグの運営に関することというわけで、グラウンドや組み合わせなどの日程調整などなどを、もう一人の協議委員(正)をお手伝いしながら進めるという役割です。

かながわクラブも県シニアリーグにはこれまで 1 人も役員を送ってきませんでした。1 クラブから 2 チームが参加していることや、加入から丸 4 年を経過してリーグに

もなれたことなどから、リーグ役員を選出するよう要請が昨年からありました。しかしながら Comp は参加者数が少なく選出するのは困難であり、Rec からのみの選出となりました。

三宅さんには、4 部リーグが楽しい壮年サッカーの場であるようご尽力をいただくわけですが、Rec&Comp の皆さんも何かとご協力をいただくようお願いいたします。

【県マスターズリーグへの参加申請中】

現在、昨年度に新たに設立された県サッカー協会シニア委員会が主管する県マスターズリーグに対して、加盟申請中です。Papas の O-40 としましては、このリーグの前身のマスターズトーナメントには、創設時から参加してきました。しかし、トーナメントからリーグに移行した昨年度は、様々な事情を勘案して、加盟を見送ってきましたが、その様子も明らかになりましたので、改めて加盟申請するものです。このリーグは全試合が、芝または人工芝の会場で、かつ審判も全て県協会派遣で運営されています。

加盟申請が認められ次第、O-40 (Rec&Comp 参加者)から、チームを編成したいと考えておりますが、費用も選手登録費、加盟費など別途徴収する必要がありますので、改めてご案内をいたします。なお、加盟が承認されるのは 3 月になる見込みです。(茅野 英一)

Mistral

昨年 11 月に我が息子たちが小学生時代にお世話になったサッカーチーム、「南ヶ丘キッカーズ」のママさんたちと第 12 回港南区レディース大会に参加させて頂きました。

結果は予選リーグ敗退でしたが、1 日青空の中で気持ちの良い汗をかいてきました。キッカーズの若いお母さんたちは、月に 2 回程度日曜日の朝 7 時から 8 時 30 分という時間帯でやっています。私も一緒に、ミストラルでの練習メニューを取り入れたりしながら、ボール遊びを楽しんでいます。

さて、話はかわりますが、暮れに横浜月例マラソン 20 キロに夫婦で参加しまし

たが、私は右足の痛みがひどくなり、10 キロでリタイア。主人は 20 キロ完走できました。新年を迎え、もう一度自分のペースで挑戦したいと思います。(津久井 京子)

ヨーガ

【ただ今インド中】

1 月 13 日にインド中央政府公認インストラクターとして認定を受けることができました。皆様、ご協力ありがとうございました。その後、ドタバタとインドへヨーガ修業の旅へと出発。ただいま飛行機で移動中です。今回は西インドへ行ってきました。ロナワラヨーガ大学に 4 泊 5 日でステイし、修業をした後に、シュリーサイババ寺院やエローラの石窟寺院を見学してインドの文化にも触れて来る予定です。昨年からはじめた英会話学習が役に立ち、機中でも、なかなか良い感じです。前回の訪印同様、笑えるネタを仕入れて帰りたいと思っています。

どうぞお楽しみに。(伊藤 玲子)

たむこと 理事長の戯言

【年男】

そうです。今年は私は年男。次に年男になったら還暦。

最近ではあらゆることで現状維持するのがいっぱい。しかし、組織も自分の頭や身体も同じで、維持しようとするだけでは少しずつ衰えます。

なので、今年は少し積極的にいろいろ動こうと思っています。

付け焼刃でやりたくないの、目に見えての変化はすぐには現れないと思いますが、クラブやそれに関わること、あるいは私のプライベートなことで、小さな進歩を試みようと思っています。

還暦の時に何ができていたのか楽しみです。ということで、まずは現役復帰かな？ (内田 佳彦)